

2012(平成24)年3月16日(金)21面~28面に

株式会社オデッセイ コミュニケーションズ

特集記事が掲載されました。

Fuji Sankei **Business i.**

2012(平成24)年
316[金]
＜日刊1994号＞

航空機リース 商社本腰

新興国需要・LCC台頭で積極投資

利にさとい大手商社の喉が、貴族に続くもうけ口として航空機市場に狙いを定め始めた。新興国の経済成長と、身軽で低コストな経営を信条とする格安航空会社(LCC)の台頭によるパラダイムシフトで、大きなビジネスチャンスが開けた。今後20年で倍増が見込まれる世界の航空機需要をにらんで、住友商事が、三井住友フィナンシャルグループ(FG)などと総額約600億円を投じる航空機リース事業の大型買収に乗り出したほか、新たに三井物産がパイロット養成事業に参入する検討に入るなど、各社が積極投資に動き出している。

三井物産は総合戦略

三井物産は、2001年9月の米中核同時テロの後に凍結していた航空機リースの新規契約を昨年再開。現在約300億円のリース資産の上積みを目指す。今後3年間で約700億円を投じる計画を策定し攻めの姿勢に転じた。

航空機操縦訓練用フライトシミュレーターなどの開発を手がける北米の企業と共同で、パイロット養成事業を新たに立ち上げる検討も水面下で進む。航空機の製造・開発、羽田空港の国際貨物ターミナルの運営などの既存事業を含めて、関連の商機を総合的に押さえる「航空機バリューチェーンの構築を目指す」(船舶・航空本部の佐藤哲朗・宇宙航空部長)戦略だ。

日本航空機開発協会によると、世界の航空機需要(貨物機を除く)は10年の約1万8000機から、30年には約3万8000機に拡大する見通し。資金調達力がある大手航空会社が利をかせいでいた以前は、航空機もパイロット養成も自前主義が当たり前で、航空機需要が拡大しても商社の出る幕は限られていた。

だが、大手から主役を奪う勢いのLCCは、できるだけ資産を抱え込まない「軽量経営」が価格競争力の源泉で、リースなどの外部サービスを利用する余地が格段に大きい。三井物産のバリューチェーン戦略の狙いはそこで、商社は今が千載一遇の商機拡大のチャンスとみている。

住商など英社買収

さらに、各社の投資意欲を刺激しているのが、住友商事による「想定外」の大型買収だ。住友商事などが手中に収めた英ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド(RBS)の航空機リース事業の売却案件は、業界内で中国企業による買収が有力とみられていた。それだけに、ライバルに案件をさらわれ

た国内勢には衝撃が走った。とくに、航空機リース事業で世界13位、国内最大手の三菱商事にとっては、後ろを走っていたはずの住友商事など三井住友グループが、買収で一気に世界15位から4位に躍進したショックは大きいはず。巻き返しに向け、三菱商事の片岡昌隆・産業金融事業本部エアラインビジネスユニットマネージャー部長は「まずはトップ10入りを果たす」と、現在2400億円の資産規模をトップ10の目安となる3900億円以上に上積みする構えだ。

大手商社は資産高を追い風に軒並み収益を拡大。三菱、三井、住友の3商社の2012年3月期連結最終利益予想の合計は1兆1000億円を超える。今年の投資総額が1兆円超に上るとみられる三菱商事を筆頭に、好業績に後押しされた各社の投資余力は大きく、資源に続く「二四目のどじょう」を望む各社の投資合戦で、世界首位の米GEキャピタルグループ、2位の米AIGグループの2強で約4割を占める航空機リース市場の勢力図も今後、大きく塗り変わるかもしれない。

(板元洋平)

世界の航空機需要

※出所:日本航空機開発協会。貨物機は除く。
2015年以降は予測

▲格安航空会社「ピーチ・アビエーション」の航空機(ブルームバーグ)

加藤 隆一
Kato Ryuichi

日経平均株価(終値)が14日、約7カ月半ぶりに1万円台を回復した。株高は7割を越す。日本経済が明るい方向に走り始めるのではとの期待が各界に広がる。証券マンらは、「日経平均は1万2000円台へ」「いや、1万5000円も期待できる」。一様に強気を語る。

しかし、射利を求めることなかれ。AIJ投資顧問が付け入り、餌食にしたのは超低金利下で年5.5%の利回りを求める組織と人の欲だった。「人の群れには近づかない。買物の行列の後ろに並ばない」。買い投資の心掛けの一つと聞いた。

旧三菱財閥の4代目当主・岩崎小弥太に面白い投資論がある。長くなって恐縮だが、以下に発言を引用する。1920年(大正9年)の「商社事務所所長会議」での挨拶からの抜粋だ。小弥太は若いころ、ケンブリッジ大学に留学。話によく英語が流れる。生粋の国際派だった。

まず、「総ての事業にしてSpeculative element(投機的要素)の無きものなしとも言えるでありましょう。しかしながら、許す可からざる投機と、許す可き思想との間には、常盤を以て厳然たる区画を置くことが出来る」と話す。

そして、「萬一を俟て、一攫千金を夢み、暴利の獲得を目的として為したる投機と、精細なる調査研究の上に立ち、周到なる計算によりて為されたる思想との間には、其の間に当るもの動機において大なる差がある」「斯うして射利投機に走りつつある今日、我々は此の風潮に飲まざらぬ」と訴える(『岩崎小弥太伝』から。一部を現代表記に改めた)。

「思想」は現代なら、「投資」と読み替えるのが可能だ。「精細なる調査研究と、周到なる計算」は株式投資、事業展開、起業の基本である。日本経済再生の礎でもある。敗戦後の廃虚からの復興と高成長、日経平均3万8015円は東西冷戦がもたらした異業でもあった。機轉の再来は望めまい。

「精細なる調査研究の上に立ち、周到なる計算によりて為されたる思想」が基本だ。

小弥太の遺訓を継ぐ現在の三菱グループの株式市場の評価は、三菱金庫会メンバーのうち、上場する21社(一部は持ち株会社に集約)の時価総額合計(3月9日現在、以下同)は22兆5001億円(1000万円以下切り捨て)。東証第一部の時価総額295兆5314億円の7.6%を占める。

ちなみに産業資本の雄・トヨタ自動車グループの時価総額合計は、グループ企業と認定される16社のうち、上場企業は11社。時価総額合計は18兆2658億円。三菱グループに肉薄する。

小弥太は折に船政、ローマ帝国の哲人皇帝、マルクス・アウレリウスの瞑想録(自省録)を紹介したという。「自省録(神谷英子訳・岩波文庫)」の中に、「流転と変化が世界をたえず更新する」の記述がある。流転を続ける日本企業のさらなる変化を願うばかりである。(経済ジャーナリスト)

IJって、

企業の情報システムをサイバー攻撃から守る会社です。

おかげさまで20周年

IJ

http://www.ij.ad.jp/

株式会社インターネット・イニシアティブ

カーエアコン・ルームエアコン
給湯機用自動制御機器の
グローバルサプライヤー

FUJIKOKI

株式会社 不二工機

http://www.fujikoki.co.jp

日本経済をアジア・欧州からとらえる

フジサンケイ ビジネスアイは2008年10月に、国際経済・金融通信社の『ブルームバーグ』と連携、国際経済・金融も網羅した総合ビジネス紙として、新創刊しました。昨年9月には中国・アジア面を創設、連日9ページを超える中国・アジア経済情報を提供しています。

日本経済の持続的な成長には国際的視点が必要不可欠となっています。フジサンケイ ビジネスアイは、欧米や中国・アジアなど海外から日本経済、企業ビジネスの今と明日をとらえてまいります。

タブロイド44ページ

＜月曜～土曜日発行＞

ご購読のお申し込みは
0120-46-3150





社会人の基礎力 資格という形に



試験前の受験者が集う待合コーナー—東京都千代田区の本社



直営試験会場「オデッセイ テスティング センター 有楽町店」では、ほぼ毎日、試験を実施している

リーマン・ショック以降の景気低迷の影響を受け、就職市場は依然として厳しい状況が続いている。厚生労働省の発表によると、2012年春に卒業予定の大学生の就職内定率は71.9%（11年12月1日時点）で、5年前の07年時と比べると約10%近く低い。

就職戦線で戦う武器に

厳しい就職戦線を少しでも有利に戦うために、学生の間では資格に対する注目度が高まっている。専門性の高い職業に結びつく国家資格だけでなく、「社会人の基礎力」ともいえるITスキルや英語力などを、資格という形にして備えておこうという戦略だ。

就活を控えた学生だけでなく、業務を効率的に進め、仕事の生産性を高めたいと考える社会人にとっても、ITスキル習得につながるパソコン資格は人気だ。

オデッセイコミュニケーションズ（東京都千代田区）は、世界で10億人が利用する「マイクロソフト オフィス」製品のアプリケーションソフトの資格試験を手がける会社として1996年に設立した。この資格は、エクセルやワードなどの仕事の実務力が身につくとあって、学生の

就活をはじめ企業の内定者教育などに活用されている。さらに同社では、インターネット使用時に必要となる基本スキル、膨大なデータ処理やルーティンワークを自動化し業務効率を高めるスキル、コンタクトセンター業務に問われる体系的なスキルなどを認定する、ビジネスに役立つさまざまな資格試験を実施している。

パソコン上で試験実施

これらの資格試験はすべてパソコンを使って行うCBT（Computer Based Testing＝コンピューター上で実施される試験）形式が採られている。これは、試験に関わるすべてのプロセスをコンピューター化したもので、受験者はパソコンの画面に表示される問題にマウスやキーボードを使って解答する。インターネットを通じて採点されるため、合否結果も即日判明する。また、試験を実施する側も低い運用コストでセキュリティの高い試験を実施できる。

試験は、同社と契約するパソコンスクールや大学・専門学校などの全国の試験会場で受験可能だ。今夏以降には、CBTによる新たな資格試験の開始も予定されている。

「世界標準」の資格 MOS試験



MOS試験のロゴ

パソコンを使いこなすことは、今やどのような職場でも必要不可欠となってきた。なかでも、エクセルやワード、パワーポイントなどを効率的に使うスキルは、業界や職業を問わず広く求められている。

オデッセイコミュニケーションズが実施する「マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS試験)」は「マイクロソフト オフィス」製品のアプリケーションソフト (ワード、エクセル、パワーポイント、アクセス、アウトLOOK) の利用スキルを証明する世界共通の認定資格である。

日本で試験を開始した1997年以来、国内の累計受験者数は290万人を超え (2012年3月現在)、一般ユーザーを対象としたパソコン

資格としては日本最大級の規模を有する。

MOS試験は、実際のアプリケーションをコンピューター上で操作する実技試験で筆記問題は無い。そのため、資格取得によって習得したスキルが日々の業務に直結する実用性が特長となる。また、合否の結果は試験直後の判定によってコンピューターの画面に表示されるため、資格を取得したその日から就職・転職活動に活用可能だ。試験は、全国各地にある約1700の試験会場で通年実施。また、オデッセイコミュニケーションズが開催する「全国一斉試験」も全国主要都市で毎月定期的に行っている。いずれも試験内容は同一なので、受験者は希望する方法を選んで受験を申し込むことができる。

▷MOS試験の公式サイト <http://mos.odyssey-com.co.jp>

■明星食品 営業部門で導入 自己啓発にもプラス

明星食品では、2011年より営業部全部署でMOS試験を導入した。きっかけは、社員からの要望だった。

「営業部門では独学でパソコンを使っている人が多く、エクセルを使ってお客さまに提出する資料づくりにかなりの時間を要していました。お客さまからの資料に対する要求も高度になってきており、現場からもエクセルの講習をしてほしいという声が増えてきました」と営業本部営業企画部の松阪勝美・販売管理課長。

MOS試験は、会社に必要なスキルが身につくこと、資格の取得が個人のプラスにもなること、難しすぎないので受けやすかったという3点が導入の決め手に。導入後は、受験日を設定し、期日まで集中して学習するカリキュラムが組まれた。

「これまで勉強したいと思いつつ、時間が取れなかった人も多かったようですが、勉強会を重ねるうちに、私も含め、全員の習熟度が上がっていくことを実感しました」(松阪課長)

「自分だけ不合格になりたくない」という気持ちが芽生え、競い合いながらモチベーションも上がり、75%の合格率という成果につ



明星食品営業本部営業企画部 販売管理課長 松阪勝美さん

ながった。資格取得後は、資料作成の作業時間も短縮され、データ集計や分析のためにエクセルを操作する管理職も増え業務効率も上がった。

「資格は、目に見えるカタチで周囲も取得した本人にも「変化」を感じられるのが良い点。今後も、社員の自己啓発につながるように自己啓発になることを応援していきたい」と評価する。

■シナネン 内定者に取得義務 仕事の不安を自信に

シナネンの人事部で新卒採用を担当する薬科莉恵さんは、入社前の内定者研修でMOS試験を取得。同社では、内定者全員にMOS試験の取得を義務づけている。

「大学は理系の学部だったため、パソコンはそれなりに使えましたが、仕事で通用するレベルかどうか不安に感じていました。入社前に資格を取得したことで、不安は自信へと変わりました」(薬科さん)

さらに入社後は、より高いスキルを身につけるべく、MOS試験のエキスパートレベルも取得してスキルを強化。「スキルがあるからこそ、上司の指示にも迅速に応えられましたし、仕事がスムーズに進みました」と話す。



シナネン管理本部人事部 人事チーム 薬科莉恵さん

ワード、エクセル、パワーポイントなどの利用スキルを証明する資格

MOS試験

マイクロソフト オフィス スペシャリスト

就職・転職に必須の資格。

申込み受付中

2012年 全国一斉試験日 スケジュール

- 160日 4月15日(日) 申込期間 2月21日(金)～3月19日(日)
- 161日 5月20日(日) 申込期間 3月20日(金)～4月16日(日)
- 162日 6月17日(日) 申込期間 4月17日(金)～5月21日(日)
- 163日 7月22日(日) 申込期間 5月22日(金)～6月18日(日)
- 164日 8月19日(日) 申込期間 6月19日(金)～7月23日(日)

株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ

<http://mos.odyssey-com.co.jp>

MOS試験「全国一斉試験」のポスター①と受験要項②

ワード、エクセル、パワーポイントなどの利用スキルを証明する資格

MOS試験

マイクロソフト オフィス スペシャリスト

全国一斉試験 受験要項&申込書

就職・転職に必須の資格。

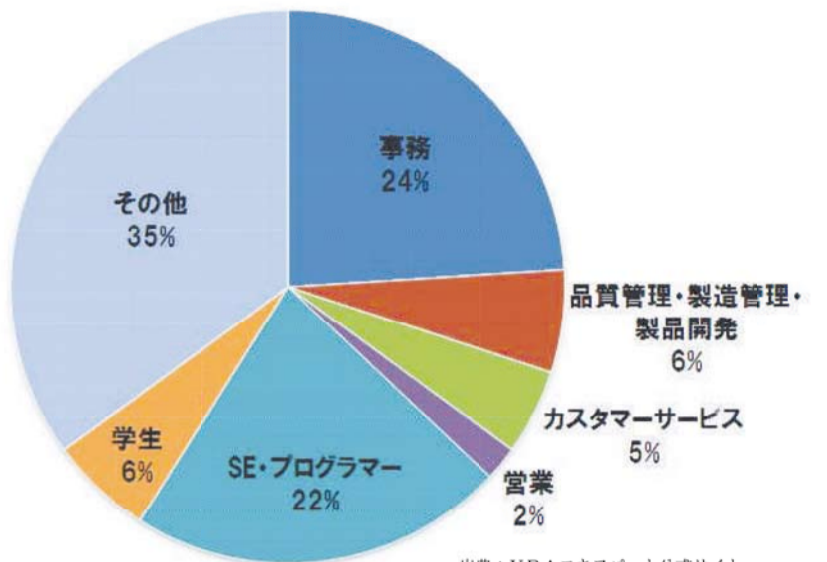
2012年 全国一斉試験日 スケジュール

- 160日 4月15日(日) 申込期間 2月21日(金)～3月19日(日)
- 161日 5月20日(日) 申込期間 3月20日(金)～4月16日(日)
- 162日 6月17日(日) 申込期間 4月17日(金)～5月21日(日)
- 163日 7月22日(日) 申込期間 5月22日(金)～6月18日(日)
- 164日 8月19日(日) 申込期間 6月19日(金)～7月23日(日)



PC上で実施するさまざまな試験

■VBAエキスパートの職業別の受験者構成



出典：VBAエキスパート公式サイト
(2009年3～10年9月末の受験者データより集計)



VBAエキスパートの公式テキスト

効率高めるVBAスキル

エクセルとアクセスにはVBA (Visual Basic for Applications) というプログラミング言語が組み込まれている。これは「マイクロソフト オフィス」製品の機能の一つとしてある「マクロ」を作るための言語で、マクロはエクセルとアクセスを使って行う操作の自動化や業務アプリケーションとして多くの企業で活用されている。このVBAスキルを証明する資格が、オデッセイコミュニケーションズが実施しているVBAエキスパートだ。

VBAを使いこなせると、同じ作業を繰り返し行う定型業務や大量のデータ処理などのパソコンを使った作業効率が飛躍的に向上する。こうしたVBAスキルはさまざまな企業で活用されているが、中でも金融系企業の部署・部門単位で導入されることが多く、VBAエキスパートは社内研修や自己啓発制度にも採用されている。

資格取得に部門スタッフ全員で取り組ん



VBAエキスパートのロゴ

だ結果、大がかりなシステムの改修をすることなく業務のスピードと正確性が高まった、「効率的に業務を進める」という意識がスタッフ全員に育まれたなどというケースもある。

なお、試験対策として受験者の多くはVBAの基礎から体系的に学習できる公式テキストを使って資格取得を目指している。

▷VBAエキスパート公式サイト <http://vbae.odyssey-com.co.jp>

ITリテラシー習得

コンピューターとインターネットを使うときに必要とされるITリテラシーが身につくのがIC³ (アイシースリー)だ。世界19カ国の専門家によって開発されたこの資格試験は、世界110カ国以上で実施される国際資格で、ITの進化と照らし合わせて定期的に内容の適正化が図られている。

企業や教育機関でも広く採用されているIC³は、セキュリティー対策や情報モラ

ル、コンピューターの保守・トラブル対応などの実践的な知識から、エクセルやパワーポイントなどのアプリケーションソフトの操作方法まで、パソコンを使いこなすための総合的なスキルを習得することができる。

近年は、企業の情報資産を守るための基本的な考え方や能力が身につくとあって、内定者教育に採用されるケースも増えている。パソコンとネットを使うITスキルの土台づくりに最適な資格だ。



INTERNET AND
COMPUTING CORE
CERTIFICATION

IC³のロゴ

▷IC³公式サイト <http://ic3.odyssey-com.co.jp>



独自の試験配信サービス

コンピューターに表示された試験問題にマウスやキーボードを用いて答えるCBT (Computer Based Testing) を利用した試験が増えつつあるなか、オデッセイコミュニケーションズでは、2011年より「Odyssey CBT」という試験配信サービスを開始している。

現在、この配信サービスを利用した試験はいくつか配信されているが、その一つがコンタクトセンター検定試験 (通称：コン検) である。これは、コンタクトセンターで働くオペレーターやマネジメント職の実務能力を認定する資格試験で、2010年に発足した日本コンタクトセンター教育検定協会が運営している。

コン検は、コンタクトセンターの専門的な職能に対する知識・スキル・行動力などを体系的にまとめた日本で初めての試験と

なるため、「オペレーターの業務をする人だけでなく、企業と契約して在宅ワークを行う人にとっても有益な資格だ」(出張社長)と指摘する。また、アメリカと日本で急成長しているウェブ系技術の専門知識を認定するRails技術者認定試験も、Odyssey CBTが採択され試験配信している。

いずれの試験も、全国にあるOdyssey CBT試験実施会場での受験が可能だ。今後もオデッセイコミュニケーションズでは、「紙と鉛筆」を使った試験のCBT化への対応などを通じて、Odyssey CBTで配信する資格試験を広げていくとしている。

Odyssey CBTでの試験配信サービスに関する問い合わせ先はオデッセイコミュニケーションズ カスタマーサービス ☎03・5293・1881 (平日午前10～午後6時)



コン検のロゴ



Rails技術者認定試験 (ブロンズ) のロゴ

▷コンタクトセンター検定試験のホームページ <http://www.cmbok.jp/>

▷Rails技術者認定試験 <http://www.atmarkit.co.jp/fcoding/rails/index/examination.html>

Microsoft、Microsoft Officeのロゴ、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。VBAエキスパートは、株式会社オデッセイコミュニケーションズの登録商標です。INTERNET AND COMPUTING CORE CERTIFICATION、IC³、IC³のロゴは、Certipoint, Inc. の登録商標または商標です。

技能競う「MOS世界学生大会」



各国代表が競い合う決勝戦



国際交流の機会も多い

スキルアップの
パートナー
Odyssey
communications

MOS試験を取得した全世界の学生を対象に実施されているのが「MOS世界学生大会」だ。これは、多数の参加者の中から選ばれた世界各国の学生代表が決勝の地となるアメリカに集まって、ワードやエクセル、パワーポイントのスキルの高さを競う国際大会で、MOS試験の試験システムを提供する米サーティポート社とオデッセイコミュニケーションズの共催で行われている。日本は2003年から本大会に参加し、毎年アメリカに学生代表を送り出している。

参加者数急速に伸び

昨年の「MOS世界学生大会2011」には、世界57カ国、延べ22万8000人の中から選ばれた各国の学生代表が世界チャンピオンの座を射止めるべく、米サンディエゴで開催された決勝戦に挑んだ。日本からは、日本大会にエントリーした2万7000人の中から、1次審査と2次審査を経て選出された5人の日本代表が参加し

た。

「MOS世界学生大会」は、ここ数年参加する学生数が急速に伸びている。この傾向は日本も顕著で、エントリー数が約1万人だった09年に比べると、昨年の参加者は2倍以上だ。大会の認知度が高まってきたと同時に、学生たちの中にもスキルを身につけることへの意欲が増していることがうかがえる。それとともに、世界大会で入賞する日本人も増え、2010年には早稲田大学先進理工学部の佐志原美潮さんがエクセル2007部門で日本人初の世界チャンピオンとなった。

毎年、決勝戦ではこの大会のために特別に作成された試験問題が用いられるが、日本代表に選ばれた学生たちは、通常のMOS試験より難易度の高い内容が出題されるケースを想定して、本番試験の直前まで持参したパソコンで勉強を続ける。

11年に、エクセル2007部門で選ばれた日本大学の長尾舞夢さんは「高校や大学

の先生などに協力してもらいながら、基礎から応用までテキストや模擬問題を使って勉強に励みました。代表として選ばれたからには精いっぱいやりたい、心から楽しんで決勝戦に挑みたいと決意したので」と、決勝戦に臨む前の状況を振り返る。

国際交流の機会得る

世界学生大会に参加した学生たちは、アメリカでの決勝戦を通して、世界各国の学生が集まる表彰式やレセプションパーティーに参加するなど、さまざまな国際交流の機会を得る。

「ここ数年、日本人の学生たちの活躍には目覚ましいものがあります。世界の舞台上で他国の学生と競い、交流することは学生にとって良い刺激になると同時に、社会人になってからもそのような経験が役立つと思います」とオデッセイコミュニケーションズの出張勝也社長は参加の意義を話す。



米サンディエゴで行われた2011年の「MOS世界学生大会」。決勝戦に参加した日本代表の大学生3人

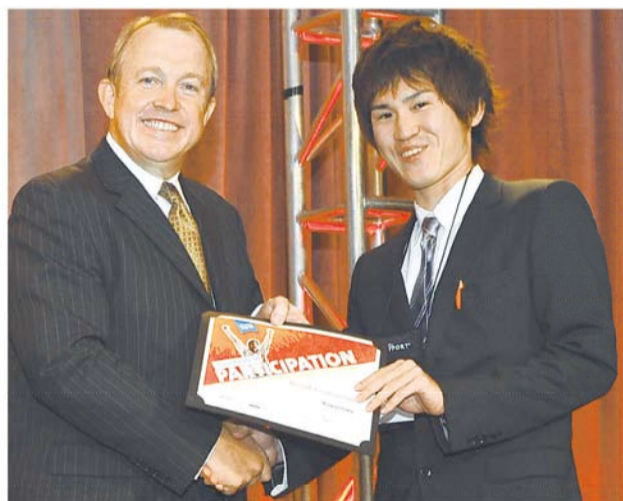
世界標準の技術磨き 大きな自信に



米国での表彰後の様子



2010年の世界チャンピオン、佐志原美潮さん(早稲田大学)。早稲田学生文化賞と横浜市金沢区の区民栄誉賞も受賞した



2011年の日本代表、川合裕太さん(静岡大学)。静岡大学の学長表彰も受賞した

「マイクロソフト オフィス」製品の利用者は、世界で10億人を超える。世界標準となったアプリケーションソフトを使いこなすスキルを磨き、本大会のようなグローバルな催しに参加することは、将来のキャリアにも大きな意味を持つ。

出場通じて成長実感

2011年の日本代表の一人として、パワーポイント2007部門で世界11位となった静岡大学の川合裕太さんは「決勝戦には、世界各国からさまざまな文化を持った学生が参加していて、いかに多くの人にMOS試験が知られているのかを実感しました。日本代表、入賞という結果は大きな自信になりましたし、この大会での経験は本当に自分を成長させてくれたと感じています。

何よりも、自分の努力した結果で周囲

の人たちが喜んでくれたことはうれしく、今では何かに挑戦するときは目標を高く掲げるようになりました」と話す。川合さんは、そうした努力と世界学生大会での成績が認められ、11年度の静岡大学学長表彰6人のうちの一人に選ばれた。

高校生の参加も可能

「MOS世界学生大会」は、ワード、エクセル、パワーポイントのいずれかのMOS試験を受験して、大会公式サイトから申し込みは誰でも参加できる。日本では、1次選考(科目ごとに、①大学・短大②専門学校③高校・高専一の3部門からそれぞれ上位20人を選出)と、2次選考(各部門の上位3人を対象に、小論文・成績証明書・面接などから総合的に判断して選出)を経て、アメリカでの決

勝戦に臨む学生代表を決定している。

また、オデッセイコミュニケーションズは毎年6月に、日本代表をはじめ上記3部門の上位に入賞した学生の日本大会の表彰式も国内で行っており、入賞者の在籍校は北海道から九州まで、毎年全国にわたっている。11年の式典には、試験システムを提供する米サーティポートも祝辞を述べるために来日した。

今年の「MOS世界学生大会」の決勝戦は、7月下旬から8月上旬に米ラスベガスで開催される予定だ(12年度大会へのエントリー締め切りは4月4日午前10時)。

MOS世界学生大会公式サイト

<http://mos.odyssey-com.co.jp/competition>

「すぐに役立つ」CMでアピール

スキルアップの
パートナー
Odyssey
communications



オフィスで効率よく仕事をこなす「エクセル男子」。「オフィスの男子たち」篇のCMより

最近、会社内でしばしば見受けられる「草食男子」や「弁当男子」。そこに登場するのが、風を切るようなスピードで仕事をバリバリとこなす「エクセル男子」だ。そんな20代に負けじと、外国人の部長も音楽を奏でるようにパワーポイントを操り「パワポ部長」と化して仕事をこなす。

これは、オデッセイコミュニケーションズがMOS試験のPRのために制作したCMのひとつだ。

仕事をもっと合理的に

事務職、総合職、管理職などを問わず、もはやパソコンを使って仕事を進めることは職場で必須のスキルである。その際に、エクセルやワード、パワーポイントを自在に使いこなせれば、パソコンを使う業務時間の短縮が可能となり、その分をほかの仕事に取り組む時間に充てることができる。

CMには、「エクセル男子」や「パワポ部長」と称されるようなスキルを発揮する人材が職場に増えてほしいというメッセージが込められている。「一人一人のパソコンスキルが上がって、使える人の数が一定のレベルを超えると、全体の作業効率がぐっと上がる。日本の企業ではもっと合理的な仕事の進め方を取り入れる必要があるのではないか」と出張社長は話す。

また、女優の藤井美菜さんが登場する「必要な力」篇は、オフィスで必要な能力は何かを藤井さんが問いかけるコミカルな演技が話題となった。「英語力を生かした仕事を…」と真剣な表情で訴える彼女に、外国人部長が「プレゼン資料、パワポで作ってくれない？」と流暢な日本語で返す。

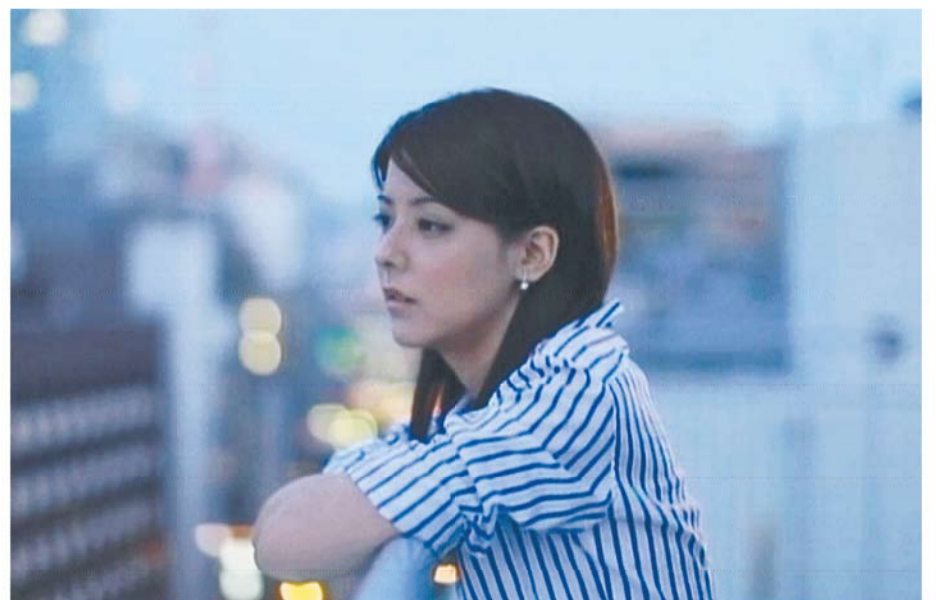
学習の進歩早く

「英語力は、専門性を追求するような手法であればよいと思いますが、そこに達するためには集中して取り組む3年以上の月日が必要だと思います。現在、多くの人は、仕事で英語を使う機会がないまま、いつか必要になるからと英語を習っている。これだと本当の英語力はつかないし、時間もかかるでしょう。一方、エクセルやパワーポイントなどを使いこなす力は、日々の仕事ですぐに役立つスキル。若いうちに集中して1カ月でもやっておけば、働いてからの差は確実に現れる。英語よりは、学習の進歩も早く、成果が見えやすいスキルだということを知ってほしい」と、出張社長はCM制作の狙いを語る。

CMは、首都圏を中心とした電車内モニター（車内ビジョン）でも、毎月定期的に放映されている。また、オデッセイコミュニケーションズのホームページ（<http://www.odyssey-com.co.jp>）でも視聴することができる。



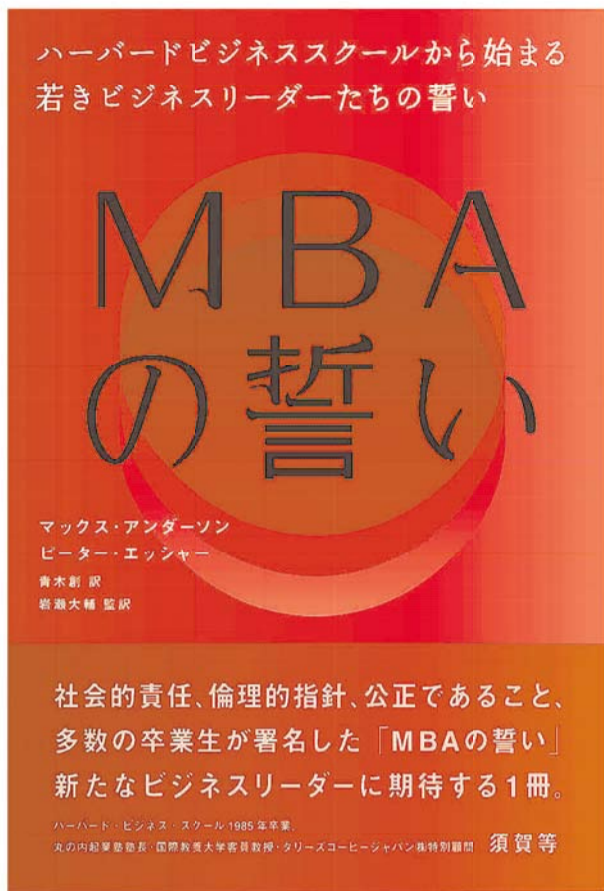
パワーポイントを使いこなす「パワポ部長」。「オフィスの男子たち」篇のCMより



英語を使った仕事をしたいと悩むOL「必要な力」篇のワンシーン

※このCMは2012年6月末までのOAおよび、HPでの公開予定です。

刺激的な米国文化 書籍通じ発信



『MBAの誓い』(マックス・アンダーソン、ピーター・エッシャー著、青木創訳、岩瀬大輔監訳)

アメリカン・ブック&シネマは、オデッセイコミュニケーションズの出張勝也社長が2007年に立ち上げた出版事業である。米国の書籍を中心に、少数精鋭で「掘り出し物」を発掘する出版社として、これまでにビジネス書・ノンフィクション・小説など、全9冊を刊行している。

自ら発掘して版權獲得

アメリカン・ブック&シネマを設立した理由として出張社長は「自分自身が大好きだということもあるが、会社としてモノを作って発信する事業を手がけたいという思いがあった。それと併せて、オデッセイコミュニケーションズが行う資格試験を受けてくださる受験者の方や、企業や教育機関などで資格を採用していただいているお取引先に対して、当社がどういう企業であるか、その考え方や価値観を間接的に知ってもらおうツールになればと考えている」と話す。

作品の大半は、高校留学で初めて米国に渡り、20代後半でハーバード大の経営学大学院を修了するなど、若いときから海外を見てきた出張社長が自ら発掘して版權を獲得したものとなり、2011年に発行した『MBAの誓い』—ハーバードビジネススクールから始まる若

きビジネスリーダーたちの誓い』もその一冊だ。

米国発の金融危機で、行き過ぎた市場主義と批判を浴びたハーバードビジネススクールでは、学生たちが中心となって社会的責任や倫理的指針について8つの誓約を立てた。本書は、全米に広がったこのプロジェクトの背景と考え方をまとめたもので、ビジネススクールに学ぶ学生のバイブル的な一冊となっている。また、ハーバードビジネススクールをベイカースカラー(成績上位者)で卒業したライフネット生命の岩瀬大輔代表取締役副社長が監訳を手がけたことでも話題を呼んだ。

新しい企業の誕生応援

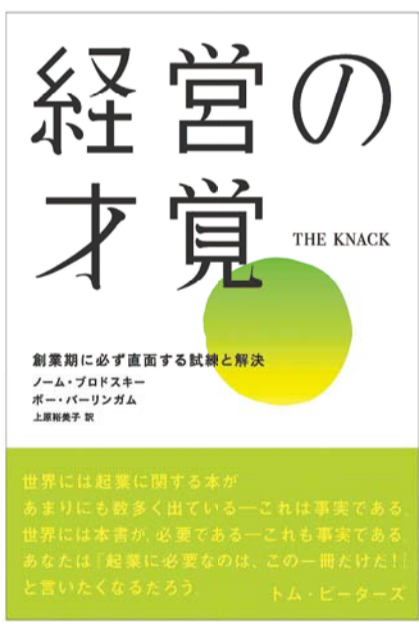
「まだまだアメリカには新しいパワーやアイデアがあり、われわれにインスピレーションを与えてくれる存在。これからも、自分たちのできる範囲で日本に刺激を与えてくれる米国発の文化を紹介していきたい。基本的にアメリカン・ブック&シネマでは、個人や新しい企業の誕生を応援するような本を出していきたいと考えている。今後は、ビジネスの本や新しいライフスタイルや価値観を広めるような本を出していく予定だ」と出張社長は展望を語った。

▷アメリカン・ブック&シネマのホームページ <http://www.kabc.jp>



『SMALL GIANTS』(ポー・バーリンガム著、上原裕美子訳)

事業拡大を選択せずに会社の存在価値を見出した14社の創業者のストーリーを追ったノンフィクション。ビジネスの意味を問い直す良書。



『経営の才覚』(ノーム・プロドスキー、ポー・バーリンガム著、上原裕美子訳)

米『インク』誌の人気コラムで、起業家や経営者に対して長年にわたってつづられたアドバイスをまとめた一冊。



『ドッグマン』(マーサ・シェリル著、高月園子訳、東條隆監修)

秋田犬の血を守った日本人の物語を、米ワシントンポストの元記者が描いた。リチャード・ギアが、映画「HACHI 約束の犬」に出演を決めたきっかけになった一冊と言われる。

ツール・ド・フランスに焦点

アメリカン・ブック&シネマではこれまで、ツール・ド・フランスに関連する本を3冊出している。がんの宣告を受けて一度はリタイアしたランス・アームストロングは、闘病を乗り越えて現役に復帰。ツール・ド・フランスに挑戦して前人未達の7連覇を成し遂げた。その後、2008年にも37歳で再び現役に復帰し、翌年のツール・ド・フランスでは総合3位に入賞して不屈の精神を見せつけた。

09年に出版した『ランス・アームストロング』は、ランスにほれ込んだ出張社長がイギリスの自転車雑誌の元記者に直接執筆交渉して制作にこぎつけた書き下ろしである。



『ランス・アームストロング』



『ツール・ド・フランス勝利の礎』



『ツール・ド・ランス』



技能底上げ 組織全体で継続を

出張勝也社長インタビュー

企業・学校への導入広がる

— 資格の認知度や受験者層の変化は
「2008年から、MOS試験のCMをテレビや電車内でのモニターなどで展開しはじめたこともあり、以前よりも認知度は高まっていると思う。日本でこの資格試験を開始した1990年代後半頃は、事務職として派遣で働く方やパソコンスクール関係者の受験者が多くを占めていたが、近年は、総合職として働く正社員や就職活動を控えた大学生などと、受験者層は広がってきている」

「また、弊社の資格試験を内定者研修や新入社員研修などに採用いただく企業も多く、商社、メーカー、金融などと多岐にわたっている。さらに、ここ数年顕著になってきているのは、各種の教育機関での学校単位での資格試験の導入で、夏期講座や就職活動前の対策講座をはじめ、選択科目などの授業に組み込む大学・高校なども顕著になってきている」

— 受験者数は

「この数年は、年間の受験者数が25万人前後で推移しているが、企業内でのニーズはまだまだあると感じている。ここ3年ほど、継続して企業向けにモニター受験を募集する新聞広告を出しているが、毎年100社以上の企業から問い合わせをいただく。『当社の社員は、みんなパソコンはできる』という担当者の方が、実際にモニター受験をしてみた結果、『案外、スキルにはばらつきがある』ということを認識されるケースも多

い」

「パソコンスキルは、一人一人のパソコンとの関わり方によって個人差が大きく、学生や新入社員などの若い世代でもできる人とできない人の差がある。これは、優秀な社員が集まる大手企業でも同じ。また、パソコンが普及してかなりの年月がたつが、昨今ではツイッターやフェイスブックなどを使う頻度のほうが高まってきていて、エクセルやワードに関しては、逆にできなくなっている傾向にあるように思える。パソコンの前に座る時間は増えているが、本当に仕事に必要なスキルという意味では、効果的に使えない人が増えているのではないかと。時代背景によってニーズは多角化すると思うが、仕事の基本として必要とされるのは、エクセルやパワーポイントであることは、今後も変わらないと思う」

日々の仕事で効果実感

— 資格取得が仕事にどう役立つのか

「例えば、毎年、新入社員にMOS試験の受験を課している会社では、継続は力なり。で、合格した社員の数が増えて一定の数を越えた頃に、組織としての生産性が上がったと人事部の担当課長から聞いた。運動と同じで、1回や2回ではなく、継続してやっていくことが大事。日々使うパソコンは、自分自身でもスキルアップの効果が実感できるし、より一層、合理的に仕事を進めていくことが求められる時代のなかでは、組織全体でスキルを底上げすることが大切だと思う」



でばり・かつや 一橋大法卒、ハーバード大経営大学院修了。1996年、オデッセイコミュニケーションズを設立、現職に。52歳。高知県出身。

▷オデッセイコミュニケーションズのホームページ
<http://www.odyssey-com.co.jp>



スキルアップ無料講座

■「スキルアップ無料講座」を開催

オデッセイコミュニケーションズでは、パソコンのスキルアップを応援する「スキルアップ無料講座」を定期的で開催している。本講座は、丸の内にある直営試験会場（オデッセイ テスティングセンター 有楽町店）で、出勤前のビジネスマンが利用しやすい早朝開催（午前7時40分から）を基本としているが、ビジネスマンに限らず誰もが無料で参加することができる。

講座は「パソコンの達人になろう」（初心者向け）、「プレゼンテーションテクニック」（PowerPoint講座）、「こんなときこそWordが便利」（Word講座）、「はじめてみよう、Excel VBA」（VBA講座）、「関数の達人になろう」（Excel講座）などをテーマにし、日ごろの業務やパソコン活用時に役立つスキルが身につく内容だ。

スキルアップ無料講座に関する詳細および最新情報は、ウェブサイト（<http://otc.odyssey-com.co.jp/>）で確認できる。